

名家先祖供養会

8月15日 午後7時より

棚経でお配りした「経木塔婆」を午後7時までに、受付の間・玄関に設けております箱にお納めください。お墓や古札箱に納めないでください。

秋の住職不在について

昨年に引き続きまして、本年も8月31日～9月28日の約30日間、高野山の儀式「勧学会(かんがくえ)」に修行僧として参加させていただきます。

この勧学会が始まってしまうと、期間中高野山を下りられないので、私が不在になる約30日間、葬式や法事については下記の要領をお願いいたします。

薬王寺通信

令和3年 夏号(18-11号・7月1日発行)
編集・発行 住職 堀部 泰博

「日面仏、月面仏」

中国、唐の時代の僧である馬祖道一(ばそどういつ)禅師が病気になる、寺の執事があたふたと見舞いに駆けつけます。「和尚、お身体の具合はいかがですか?」と尋ねたので、馬祖禅師はこう答えました。

「日面仏、月面仏」と。

「日面仏」とは、1800歳という寿命の長い仏様です。対して、「月面仏」の寿命は、一日一夜と短命です。

馬祖禅師は1800歳まで生きる仏様もいれば、一日一夜の仏様もいるのではないかと。病気など気にするな、「生きるもよし、死ぬるもよし」と、返事をしたと言います。

こんな境地にたどり着くのは容易ではないのにしろ、生にも死にもとらわれないとは、結局、今日一日を生きるという心なのでしょう。

ホスピスで過ごしていたある患者さんが「人生は夏休みのようなもの」と表現されていました。

「夏休みのようにあっという間に過ぎたよ。夏休みのように色々な宿題が出て、嫌なこともあったけど、家族や友達と過ごして、いっぱい思い出が出来る。最後はね、宿題も終わって、素敵な思い出が残るんだ・・・」。

今世の中は新型コロナウイルス感染症の猛威にさらされ、明日は我が身の生活を送っているかと思えます。今まで当たり前だと思っていたことが、当たり前ではなかった事を思い知らされた1年になりました。

このような状況でも一日一日を精一杯生きることが、タイトルにある「日面仏、月面仏」の境地になり、この人生を豊かに終えられるということになるのではないのでしょうか。

本年 **ひとぼし** を迎えらるる新精霊

ひとぼしの法要は、まず新しく先祖に加わった新精霊を、初めてお迎えする行事のことです。葬儀で引導をして彼岸へ渡られた新精霊は、この8月に彼岸に渡ってから初めて帰って来られます。途中道に迷わないように、各灯笼木を建てて新精霊を案内します。また途中餓鬼に邪魔をされないように、縁側の外に水棚を作り、施餓鬼をして餓鬼を一ヶ所に集めます。これが各家庭でのひとぼし法要で、8月1日から10日までの間に行います。初めて帰って来られる新精霊は、やはり初めて彼岸に帰ります。その時も餓鬼に邪魔をさ

れないように、8月16日に寺で施餓鬼会を執行して、無事に彼岸へ着くことを祈ります。多くの方に施餓鬼をしてもらう事がより多くの餓鬼を集めることになり、良いこととされていますので、家族・縁者・近隣・友人など普段の法事よりも多くの方が供養をします。

弘法大師降誕会

7月15日 会所 延命寺

例年行っています「宗祖弘法大師降誕会」を、本年は国衙延命寺にて執行いたします。当日はお大師様の誕生をお祝いする法要が行われ、途中甘茶を稚児大師に掛けて、皆でお祝いをします。

当日は教区参与会の総会(12:30開始)も合わせて行います。

13時から法要、14時からは法話と福引きが行われます。今年は奈良 影現寺住職・深水弘裕師が法話をいたします。何かとお忙しい時季ではございますが、是非ともご参加下さい。

十二薬師夏祭り

本年も7月12日(月)に夏祭りが行われます。当寺の本尊・薬師如来は毎月12日が縁日になっており、「十二薬師」と呼ばれ、7月はその夏祭りになっています。午後7時より、本堂内に於いて「護摩供」を行います。添え護摩木にお願い事をお書きいただければ、護摩供の時に祈願いたします。7時までに本堂前でお書きください。1本200円です。

尚、7月1日開催の総代会において、夜店の自粛を決議する場合もあります。予めご了承ください。夜店についてはお寺までお問い合わせください

大般若祈禱会

7月12日
午後2時より

そもそも、大般若祈禱会は寺で祈禱するものではなく、社頭(神社)で行われていました。江戸時代頃から神社が、本地垂迹(ほんじすいじゃく)の思想によって、仏様が日本の神様に姿を借りていると考えられるようになったのと、小さな

神社には神官がない為、寺の住職(主に真言宗・天台宗)が「別当」という名で、神職を兼ねていたのが、明治時代になって「廃仏毀釈(はいぶつきしゃく)」が行われて、神仏が分離されました。長らく大般若などの法要を行っていなかった為、引き続き寺に代えて行っていました。ちなみに、薬王寺にある大般若経600巻は元福良八幡神社にあったものです。

大般若のお札は、施主が「筒井自治会」ですので、筒井地区だけに当寺のお札を配っています。もとは玄関に貼る木の札だったのですが、最近では紙の札になっていますので、柱などにお貼りください。

お盆の棚経 8月9日～14日

お盆の棚経は8月9日から14日の間に行います。大雑把な予定は下記の通りです。時間がおすこともあります。

現状、昨年と同様に行います。ただ、「緊急事態宣言」が発出されれば、仏間に入らず家の外(縁側)からのお参り方法に変更いたします。また島外については宣言に限らず各棚経先の感染状況を鑑みて、お参りするかどうか判断いたします。変更の場合はハガキにてご連絡いたします。

9日	午前9時～12時 伊賀野・古池・八ツ又・新田中・生子
10日	午前9時～11時半 新田北・畑尻
11日	午前9時～11時半 山路・大久保
12日	午前9時～11時 西尻
13日	午前8時～12時(昨年より1時間早いです) 北尻・寺町北・東畑・寺町・畠中 午後3時50分～午後5時 福井・賀集・阿万・潮美台
14日	午前から 鮎原・島外

福井・賀集・阿万・潮美台地区の檀家には個別にハガキにて時間をお知らせいたします。

8月16日 午前10時より

施餓鬼会

薬王寺本堂において施餓鬼法要を執行いたします。初盆を迎えられた新精霊のご家族にお参りいただき、彼岸へ帰られる新精霊の為に供養をいたします。